

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北陸)	良くなる	一般小売店〔書籍〕 (従業員)	・今年の冬のボーナス商戦が期待できそうである。
		通信会社(営業担当)	・ボーナス商戦に加えて学生向け購入が増えてきて、販売台数が増えてくると思われる。
		通信会社(役員)	・年度末の商戦期に近づくとつれて、申込が好調に推移すると予想する。
	やや良くなる	一般小売店〔事務用品〕(店員)	・業界の繁忙期に入るタイミングなので、商談の引き合いが微増している。
		百貨店(営業担当)	・年末商戦に入ってくるが、郊外や近隣の商業施設との客の奪い合いが売上に響くと予想している。しかし、クリアランスセール時期に入るため、今よりは客の財布のひもは緩み、景気は少し上昇してくると予想する。
		乗用車販売店(役員)	・年末には新たにフルモデルチェンジ車が発売されるので、販売力の増強に強力な商品となると思っている。
		住関連専門店(店員)	・年内は年末商戦も追い風になり、小売全体の販売量は増加傾向にあると思われる。企業により年末のボーナス支給は異なるが、消費の波は徐々にし好品にも流れていると考える。
		スナック(経営者)	・新しい年を迎え、流れに期待したい。しかし、国際的な様子が怪しげになれば、逆に最悪になるかと思う。
		都市型ホテル(役員)	・レストラン部門、宴会部門は横ばい傾向にあるが、宿泊部門の増加により全体ではやや良くなると見込む。
		旅行代理店(従業員)	・北陸新幹線効果により石川の観光業を中心に活性化している。
		通信会社(役員)	・今年度新たに提供開始した無線サービスも、当初は申込が少なかったが、ここに来て着実に伸びてきており、今後の総契約数の増加に結びつくものと期待している。
		競輪場(職員)	・冬季期間は開催日数が減少する。しかし比較的グレードの高いレースを発売することが多いため、月あたりの平均売上額は増加傾向にある。
		住宅販売会社(従業員)	・来年になると消費税増税の動きが出て、客も動くと思う。
	変わらない	商店街(代表者)	・プレミアム付商品券の反動は11月までとみているが、暖冬と予測されていたにもかかわらず、ここに来て一気に寒さが増してきた。人出に影響がありそうだ。
		商店街(代表者)	・12月は歳末の売り出しやクリスマスなどがあり、1月は正月の売り出しや、成人式などがある。これらは例年のことであり、大きく変わることはない。今後2～3か月の景気は例年並みになると思う。
		一般小売店〔鮮魚〕 (従業員)	・忙しい日々が続いて良いのだが、現場の社員はかなり疲労がたまっている。人材募集を続けているが、求人にかからない。逆に今の給与に耐えられず、より良い報酬の会社へ転出する人が増えていると、同業者の声を聞く。
		百貨店(売場主任)	・今冬の暖冬予測から、クリアランスセールにおいても、コートなどの防寒商材や冬物衣料は低迷すると思う。期待できない。
		スーパー(店長)	・年末需要を考えると、現状から予測するにあたり、厳しい状況が続くものと思われる。特に天候の影響を受けると、より厳しいものと予測される。
		スーパー(総務担当)	・11月のお歳暮ギフトの売上もほぼ前年並みであるため、景気が良くなっている印象は受けない。
		スーパー(総務担当)	・3月ごろまではこの状況が続くと思われる。ただし、人手不足により人件費が上がり、4月以降は不透明と予想している。
		コンビニ(経営者)	・来客数については微増の状態が続いていて良いのだが、やはり目的買いで、コーヒーならばコーヒーだけを100円で買って帰るといった客も相変わらず多く、ついで買いがなかなか増えている感じがしない。金額についても、どちらかというと抑え気味に買う客が多いが目立つ。清涼飲料のパックジュースで健康志向の商材は好調に推移しているが、やはり単価が上がらない以上、トータルの売上は今後とも増加は見込めない。
		コンビニ(経営者)	・クリスマスケーキの予約など、年末商戦での数字の上積み期待しているが、その他の平常時の状態に変化があるとは思っていない。
		衣料品専門店(経営者)	・売上の減少が続く、回復の見込みがたたない。このエリアの衣料品の売上の平均は、前年比8割台だと聞いている。
	家電量販店(店長)	・買う人と買わない人がはっきりしている状況である。この状況は続きそうだ。	

家電量販店（店長）	・客の購入点数が継続的に少なく、主要商品に対して関連提案をするが、必要最低限の物しか購入されず、ついで買いや衝動買いが見られない。
乗用車販売店（経営者）	・他社では年末に向かって新型車に期待しているようだが、当社は新型車の予定がないので現状通り推移すると思う。
自動車備品販売店（従業員）	・温暖化で降雪量が少ないとの長期予報の情報もあり、買い控えを考えている客から、もう少し我慢して使おうかななど、できる限り出費を抑えたいとの声が多くある。厳しい状況は変わっていないと感じる。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・とにかく、これ以上悪くなつてほしくないという希望で、変わらないとした。
その他小売〔ショッピングセンター〕	・来客数の前年割れが続いている。他の競合店の価格や話題性で、買い回りにしている様子である。食料品の値上げが続いているため、買い控えや切売り品購入が増え、さらに価格に敏感になっているようだ。ただしガソリン価格の値下げが続いているため、商品需要が増えることを期待したい。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・来年の年始は1月4日が月曜日で期間が短いため、買物関連での外出がどうなるか不透明である。
一般レストラン（店長）	・北陸新幹線効果がやっと現れたのが、関東からの入込数がかかり増加したようだ。観光シーズンということもあり今月は良かったが、今後の推移を注視したい。
観光型旅館（経営者）	・来年3月までは北陸新幹線効果、大手旅行会社の全社キャンペーンなど集客が期待できる。
観光型旅館（スタッフ）	・予約状況は11月のみ103%となっているが、12月以降は150%台となっている。冬場は県外客が減少するが、北陸新幹線利用客を今後どの程度確保できるかが課題といえる。
旅行代理店（所長）	・観光需要が少なくなる季節でもあり、大きな変化が感じられない。
タクシー運転手	・新年会などでお酒を飲む機会があり、タクシー利用も昨年の年初より期待できそうである。
通信会社（営業担当）	・売上目標は達成しているが、客の様子から大きな変化はみられない。冬商戦が到来するので期待している。
通信会社（店舗統括）	・それほど上がる要素が見当たらない。
その他レジャー施設（職員）	・体験教室、特別教室などの企画実施で、冬場に向けての落ち込み開始時期を少しでも遅らせるようにしていく。燃料費がピークになるシーズンだが、現状の燃料費で推移してくれば助かる。
美容室（経営者）	・地方の景気は全く良くなっていない。今後の労働市場を考えると、不景気なのに人手不足ということになりかねない。
住宅販売会社（従業員）	・今後、販売量に変化はないが、競合がますます激しくなり、利益額への影響が懸念される。
やや悪くなる	
一般小売店〔精肉〕（店長）	・今後も原材料の値上げが予想され、それによる単価の値上がりにより、客の購買意欲が薄れるような感じが否めない。
百貨店（営業担当）	・今年、北陸はアウトレットモールなどが開業した。初売りについては、新しい店はますますだが当店は厳しい。小売全体でも少々悪化するのではないか。
コンビニ（店舗管理）	・競合他社の求人時給が急激に上昇している。そのため当社も追随するしか方策は見当たらず、損益の悪化は避けられない。
乗用車販売店（従業員）	・天候が悪い日が続く季節になり、客足が遠のく。
高級レストラン（スタッフ）	・1月以降の受注は、この秋に比べて落ち着いている。JRの北陸デスティネーションキャンペーンも年内で終了するので、現在がピークと思われる。
一般レストラン（統括）	・客単価アップの方策で売上高を伸ばしてきた店舗に陰りがみられてきた。客単価を下げても客数を増やす戦略に転じる場合、目標値到達までに要する期間を考えると、利益を圧迫する期間がやや長くなる見通しである。売上高や来客数が伸びても利益確保が難しい状況が続く。
都市型ホテル（スタッフ）	・冬場に向かい、北陸新幹線効果がどれだけ見込めるかが分からない。
タクシー運転手	・今まで良かったのは、県外からの観光客で忙しかったからだが、これだけ寒くなると予約もちょっと少なくなっている。
通信会社（職員）	・特典などがないと売上がついてこないという負の連鎖が続いている。
テーマパーク（職員）	・北陸新幹線開業効果による特需も、先行予約をみる限り向こう2～3か月先は落ち着きをみせている。インバウンドもやや横ばいか減少傾向にある中で、全体としてはやや悪くなる方向にあると予想している。

		住宅販売会社（従業員）	・受注数字は前月比12%の減少であった。消費税増税が実施されることを前提に考えた場合、完工日数を考慮すると受注契約数字はもっと伸びてもおかしくない。現状は伸び悩んでいると言わざるをえず、先行きが心配である。
		住宅販売会社（従業員）	・毎年11月までは人の動きがあり、12月になると人が動かなくなるのだが、今年はその動きが早くなり11月の人の動きはとて少なく感じた。他社の動きも鈍いように感じ、来年早々にイベントで集客するためにエネルギーをためこんでいる感じがする。
	悪くなる	コンビニ（店長）	・売上が横ばいだが、経費が数年前より30%ほど上回っている。店舗売上だけをみた景気は横ばいだが、店舗経営でみた景気は利益と経費の割合から確実に悪化している。おそらく我々小売は、アルバイト時給の高騰と人手不足から、店舗運営の継続が極めて難しい状態に陥りつつある。売上というより物価の上昇、利益の根本的な底上げがない限り致命的な状態になる。
		衣料品専門店（経営者）	・景気は下り坂に入ったように思う。周りの9割方の人は、先行きに明るさを感じていないように言っている。国に頼ってもだめだとは思っていても、何とかならないのかという不満が充満しているような感じである。
企業 動向 関連  (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	プラスチック製品製造業（企画担当）	・軸足を置く住宅市場は、5月以降新設住宅着工数が前年比順調な伸びを示している。部材供給は着工後2～3か月後となることから、業績的には上向くものと予想している。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の注文の入り方を見て、そのように思った。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・国内消費が盛り上がり欠けると共に、輸出の伸びも期待できず、現在の状態が継続すると思われる。
		繊維工業（経営者）	・開発案件が非常に多く、3～4か月後には必ず実ると思っている。1～3月は、やや悪いのではないかと思う。現在のところ、ここしばらくは定番商品の動きのみであろうと考えている。
		化学工業（総務担当）	・受注状況は、横ばいの予定である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・円安状況下であり、輸出関連はこの状況が当面続くと考えるが、新興国通貨安と景気減速が懸念材料である。
		精密機械器具製造業（経営者）	・今後春先に向け、生産量的には増産気味の計画をしているが、国内では特に中国人観光客のいわゆる爆買い以外、あまり市況が良くなるような話を聞かない。
		輸送業（配車担当）	・消費者の購買意欲が向上するとは考えにくい状況の中では、しばらく現状の状態が続くと思われる。
		金融業（融資担当）	・観光客の入りは相変わらずではあるが、人件費が上昇し人材確保が難しくなってきた。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・上半期に比べれば、ややチラシ出稿量が上向いたとも思えるが、業種やクライアントが偏っている気配がする。浮き沈みが各業種ともあり、安定感があるクライアントも限られている。バランス的に変わらないとしか言いようがない状況と思える。
		司法書士	・事業用不動産、住宅地用不動産の取引が堅調にあるが、売買価格が安いと感じられる。
		やや悪くなる	食料品製造業（役員）
		一般機械器具製造業（総務担当）	・欧州のテロの影響で、設備投資意欲が落ちると思われる。
		建設業（経営者）	・手持ち工事が少ないので、年末工期の工事を終わると手持ち工事がなくなり、経営難に陥る業者の発生が予想される。暖冬の予想であり、除雪作業の売上も少なくなるであろう。
		建設業（総務担当）	・北陸3県の工事発注量に減少傾向が見受けられ、受注価格競争がさらに激化する兆候が表れており、今後受注環境は厳しさを増すと見込まれる。
		金融業（融資担当）	・当地域では、北陸新幹線開業効果も一巡し、プレミアム付商品券の需要促進効果も終了した様子である。再来年の消費税率引上げなど悪いニュースが多い。
		不動産業（経営者）	・今後の話は、法人からの問い合わせも少なくなってきたり、個人客の問い合わせも少なくなってきたりという意見が多い。

	税理士（所長）	・景気は「さっくばらん」な話、国民の気分によってかなり左右される部分があるが、今のところ新しいアベノミクスや今後の展望について、マイナス、ネガティブなイメージが強い。マスコミの報道も、マイナンバー関連など色々な面でネガティブな報道が多い。何か先が細くなっているイメージを払しょくするような新しいニュースがあればと思う。日本人は、政策など旗を振る政治家の勢いには素直であるので、ちょっとしたインパクトのある政策によって大きく変わると思う。給料が上がる形での、より具体的な政策を期待したい。
	悪くなる	-
雇用 関連  (北陸)	良くなる	-
	やや良くなる	<p>新聞社〔求人広告〕（担当者）</p> <p>・求人数は落ち着きつつあるが、逆に言えば就職者が増えているということ、今後そうした人々の経済活動が活性化する可能性は高く、景気は上向くのではないかと考える。この後景気が本格的に上向けば再び求人数や雇用形態に変化が出てくるだろうと思う。</p> <p>職業安定所（職員）</p> <p>・有効求人倍率が1.5倍と、非常に高い数字を示している。また、求人数の増加についても、多くの主要産業で増加傾向がみられる。</p>
変わらない	人材派遣会社（役員）	・期間限定の案件には求職者が飛びつかない。
	人材派遣会社（社員）	・今後、マイナンバー制度導入により、短期、日雇い、単発の派遣業務における対策をしっかりと考えていかないと難しい。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用計画の動きがない。また、転職する人の動きがあまり目立ってない。
	職業安定所（職員）	・業績が良くなるという事業所がある一方で、依然として先行きを不安視している事業所もある。
	学校〔大学〕（就職担当）	・現在のところ、昨年度と比べて次年度に向けての求人依頼は増えているが、今後の中国やEU圏での経済状況がどのようになるを見極める必要がある。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・新規求人数が前年同月を下回る状況がみられる。
	民間職業紹介機関（経営者）	・プレミアム付商品券のような消費を拡大するような目玉がなく、消費が伸びていない。給与や賞与も増えていそうにない。
	悪くなる	-